

特報! キレーターが イシクラゲに登録拡大!

コケ・藻類の専用除草剤
「除草剤」として農薬登録されてます!

キレーター[®]



人が管理している公園、庭園、宅地、駐車場、運動場、道路等にキレーターを使うことが出来ます。

イシクラゲとは

藻類であり、道端・運動場・芝生の中・コンクリート面等によくみられます。ネンジュモ属の陸生ラン藻類であり、ゼリー状の保護物質に包まれた形態をしています。



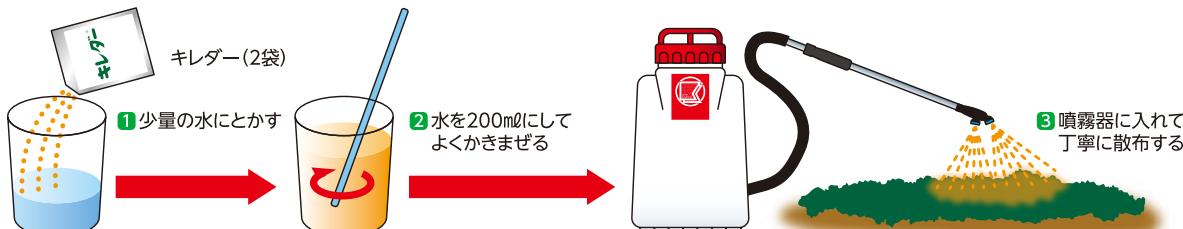
水を含み膨らんだ状態



乾燥時の状態

使用方法

●噴霧器で手軽に使用できます。「1m²当り:水200mlに分包1~2袋をとかすだけ!」



キレーターの適用内容(イシクラゲ抜粋)

2019年6月12日現在

作物名	適用場所	適用 雑草名	使用時期	使用量		本剤の 使用回数	使用方法	ACNを含む 農薬の 総使用回数
				薬量	希釈水量(希釈倍数)			
樹木等	公園・庭園 宅地・駐車場 運動場・道路等	イシクラゲ	イシクラゲ生育期	2~4g/m ²	200ml/m ² (50~100倍)	3回以内	植栽地を除く 樹木等の周辺地に 噴霧器で 雑草茎葉散布	3回以内

※日本芝(こうらいしば)、西洋芝(ペントグラス)、つつじ類(鉢植え)、樹木等のコケ類にも登録があります。

⚠ 効果・薬害等の注意

- 本剤の所要量を所定量の水に加えてよく攪拌し、じょうろ又は噴霧器でコケ類、藻類に十分かかるように散布してください。
- イシクラゲに使用する場合、雨上がりなどイシクラゲが水を含んで膨潤な時に使用してください。
- 植栽地を除く樹木等の周辺地で使用する場合は、薬剤が樹木等にかからないように散布してください。
- 公園、庭園等で使用する場合、特に以下のことに注意してください。
 - ①激しい降雨の予想される場合は使用をさけてください。
 - ②本剤の飛散あるいは流出によって有用植物に薬害が生じることのないよう十分注意して散布してください。
 - ③水源池等に本剤が飛散・流入しないよう十分に注意してください。
 - ④散布器具、容器の洗浄水及び残りの薬液は河川等に流さず、容器、空袋等は環境に影響を与えないように適切に処理してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空袋は圃場などに放置せず適切に処理してください。

●本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

⚠ 安全使用上の注意

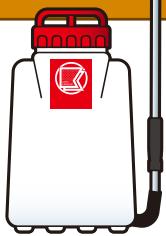
- 散布液調製時及び散布の際は保護眼鏡、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼してください。
- 公園、庭園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう繩囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意してください。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管してください。
- 水産動物に影響があるので、養殖池等周辺での使用はさせてください。

保 管…密封し、直射日光を避け、食品と区別して、冷涼・乾燥した場所に保管してください。

キレダーの上手な使い方

POINT!

散布時期



雨上がり等の**膨潤時**の散布が最大のポイント。

水を含んで膨らんだ状態



膨潤時の生存イシクラゲ



膨潤時の枯死イシクラゲ

試験区	0.5m ² 当り重量(g) (処理25日後)			枯死率	判定 (効果)
	生存重	枯死重	合計重		
水をしっかり含んだ膨潤時散布	7.5	115.5	123	93.9%	極大
少し濡れた状態の半乾燥時散布	24.5	73.5	98	75.0%	中
水を含んでいない乾燥時散布	76.8	43.2	120	36.0%	小
無処理	105	0	105	0	

イシクラゲの乾燥状態の違いによる効果確認試験

場所: 所沢市

処理日: 2017年7月23日 調査日: 2017年8月17日

処理量: キレダー 3g/m²

効果: 膨潤時の散布は極大な卓効を示した。

効果の判別はイシクラゲが水を含んだ膨潤状態以外では難しいです。

キレダー水和剤の試験結果

試験区	0.2m ² 当り重量(g) (処理30日後)			枯死率
	生存重	枯死重	合計重	
キレダー4g/m ²	0.2	66.4	66.6	99.7%
キレダー3g/m ²	2.5	71.3	73.8	96.6%
キレダー2g/m ²	9.1	88.9	98.0	90.7%
無処理	595.7	0	595.7	0

日植埼玉試験地 委託試験成績(2018年)
処理日: 2018年6月16日
調査日: 2018年7月16日(処理30日後)



イシクラゲは枯死後もゼリー状の保護物質が残りますが、微生物等によって徐々に分解され消失します。

[完全に分解されるには、時間がかかるので掃き集めるなど
必要に応じて対応してください]